

2001年度予告

慶應義塾大学大学院プログラム

バイオインフォマティクス

 Bioinformatics

バイオ+ITで
21世紀を制覇



日本初。世界でも希少な本格 カリキュラム

バイオインフォマティクススペシャリストの養成コース


- ゲノムサイエンス
- ポストゲノムサイエンス
- 遺伝子ネットワーク論、生命情報論
- バイオインフォマティクスツールの実習
- ゲノム解析のためのプログラミング実習
- バイオシミュレーション実習など。



生物系と情報系学生のニーズ に応える補習科目

- 総合大学の利点を十二分に発揮。
- 生物系学部出身者には、UNIXの初歩からCプログラミング、データベース概論、アルゴリズム論など。
- 情報系学部出身者には、分子生物学や細胞生物学の基礎を学ぶ補習科目に加えて、遺伝子工学実験実習の入門コース。

学生実習で全ゲノム配列同定

- 
- 最新鋭のDNAシーケンサーを用いて与えられた微生物の全ゲノム配列を2ヶ月間で決定。
 - その配列データをその場で直ちにバイオインフォマティクス技法を用いてコンピュータ分析する。
 - 今まで国家プロジェクトレベルだった仕事を学生実習で達成する、世界でも画期的な授業。



最先端の研究環境

- 慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス：バイオインフォマティクスの研究室としては世界最大規模。
- E - C E L L という細胞シミュレーションプロジェクトはScience誌やNature誌にも紹介された。



海外との強力なネットワーク

- 国際論文誌 "Bioinformatics" 編集長のChris Sander M I T 教授
- 国際情報生物学会 (I S C B) 会長のRuss Altmanスタンフォード大学教授
- ハーバード大、U C S D、ケンブリッジ大、セレラ社、TIGR研究所の研究者を招聘したり、これらのラボを訪問。
- 国内外の学会にも積極的に参加・発表し、常に最先端の情報交換。